

第 5 学 年

ようこそ 椋鳩十の世界へ～作品を読んでパンフレットを作ろう～

男子2名、女子5名 計7名 指導者 原田圭輔

【題材観】「大造じいさんとガン」

- 椋鳩十が大造じいさんから聞いた話をもとにして作った童話作品である。大造じいさんと残雪（ガンの頭領）との対峙を通して、動物の「えらぶつ」ぶりを描いている。
- 構成は、物語の設定が書いてある前書きがあり、1年目の「うなぎつりばり作戦」の1場面、2年目の「タニン作戦」の2場面、3年目の「おとり作戦」の3場面、4年目の残雪との別れの4場面に分かれている。
- 読者に人間が知らない動物の知恵や勇気、生き様を伝えようとしている。

【児童観】

- 「なまえつけてよ」では、表を使って登場人物の心情の変化をつかんだり、関係図から登場人物相互の関係をつかんだりすることができた。また、読んだ本の内容やよさがわかるような推薦文を書くことができた。
- 日常の読書で自分の好きなジャンルのものしか読まない児童が多い。
- 学習のまとめや推薦文などで、大事なところが記述できていなかったり、書く内容を自力で考えて的確に書くことができていなかったりする児童が見られる。

【この単元のつきたい力】

- 作者に関する伝記や資料を読んだり、同じ作者の複数の作品を比べて読んだりするなど目的に応じて工夫して効果的に読む力。
- 優れた叙述を見つけ、登場人物の心情や人物像を想像させるような場面の様子（情景描写）や読者を物語に引き込ませるような登場人物の行動の様子（行動描写）について、表現の効果に気づき、それらを評価する力。

【そのために取り入れる言語活動】

- 椋鳩十の伝記や椋鳩十作品を読み、作者の人生や生き方を知ったり、作者の表現の工夫や物語の主題を読み取ったりする言語活動。

【単元の評価規準】

- 椋鳩十を紹介するために、いろいろな椋鳩十の作品や伝記を並行して読んだり（多読）、拾い読み（摘読）をしたりするなど工夫して読んでいる。〔C イ〕
- 情景の描写や行動の描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている〔C エ〕
- 椋鳩十を紹介するために、椋鳩十の作品や椋鳩十に関する伝記や資料を選んで比べて読んでいる。〔C カ〕
- 比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。〔言語事項 イ(ケ)〕

児童の課題克服の手立て

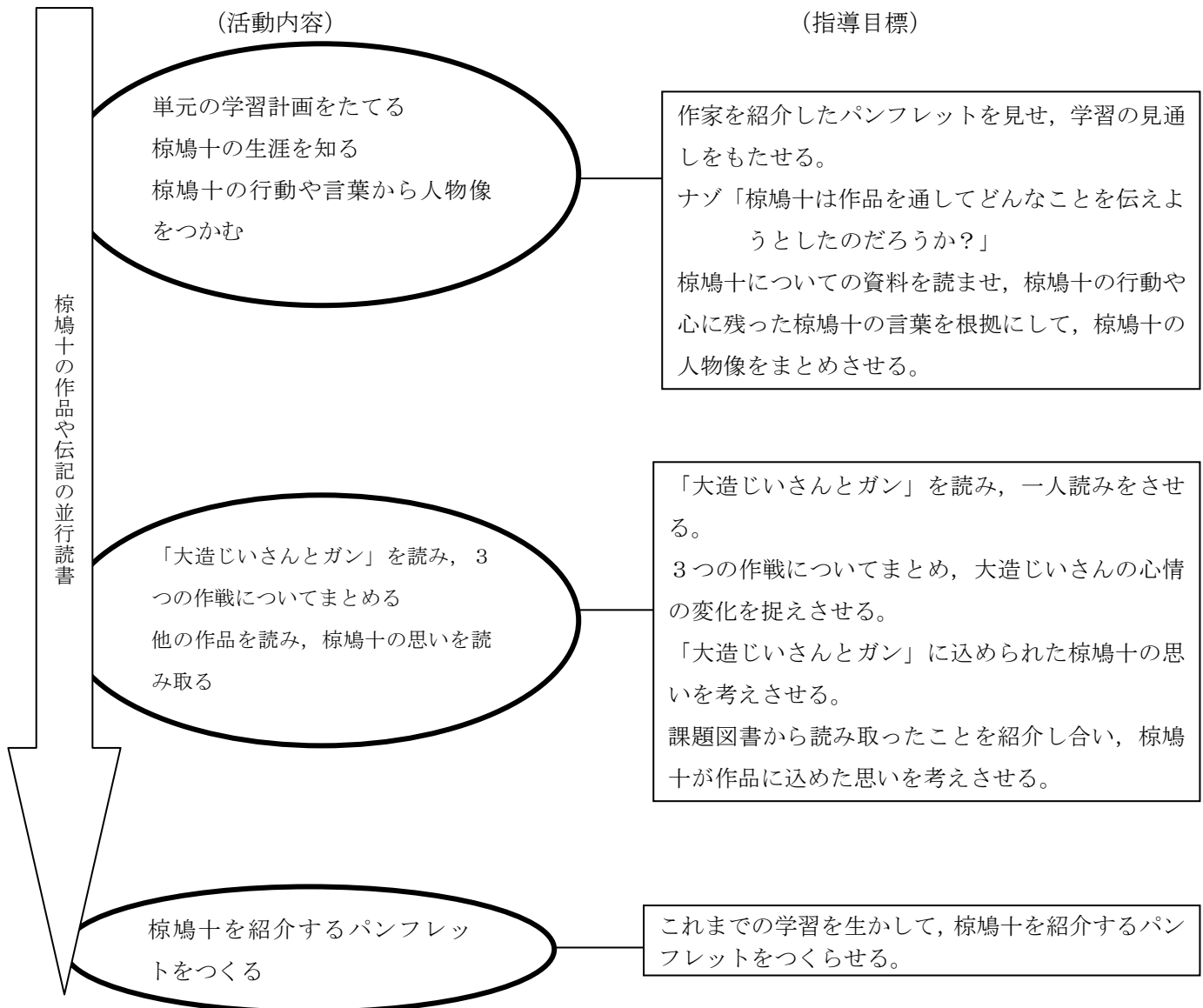
【指導観】

- 指導者のモデル作品を見せ、単元のゴールをつかませる。椋鳩十作品や椋鳩十の伝記を教室に置き、休憩時間や授業時間にすぐに読書できるようにする。また、課題図書を設定し、じっくりと他の作品を読む機会をつくる。
- 個人で思考し、自分の考えなどを書かせた後、ペアや全体で読み合う時間をつくり、互いに意見を交わせる。また、必要に応じて推敲する場面も設定する。

想像を広げながら読むための手立て

- 物語の「ナゾ」を設定し、それらを解決していく中で読みを深めさせる。
- 情景描写や行動描写に着目させ、登場人物の心情や人物像、表現の効果を捉えさせる。
- 題名に着目させたり、作者に注目させたりすることで作者の伝えたいことを考えさせる。

【単元構成図】



【指導計画】(全13時間)

次	学習内容(時数)	評 価				
		関	読	言	評価規準	評価方法
一	○「パンフレット」に興味をもち、学習課題を設定し、学習の計画をたてる。(1)	○			○椋鳩十作品に興味をもち、進んで読書をしている。	行動観察(発言・行動)
	○椋鳩十に関する伝記や資料を読み、椋鳩十の生涯をつかむ。(1)		○		○いろいろな椋鳩十の伝記を並行して読んだり(多読)、拾い読み(摘読)をしたりするなど工夫して読んでいる。[C イ]	ノート
	○椋鳩十の行動や心に残った椋鳩十の言葉を根拠に、椋鳩十の人物像をまとめる。(2)		○		○椋鳩十を紹介するために、椋鳩十に関する伝記や資料を選んで比べて読んでいる。[C カ]	ノート KJ法(付箋・グループング)

二	<p>○「大造じいさんとガン」を読み、場面や登場人物等を整理し、言葉の意味を確認する。(1)</p> <p>○3つの作戦をまとめたり、情景描写や行動描写の表現を見つけたりして、それぞれの大造じいさんの残雪に対する心情を読み取る。(1)</p> <p>○「大造じいさんとガン」に込めた椋鳩十の思いを読み取る。(1)</p> <p>○課題図書の読み取りを紹介し合い、椋鳩十が作品に込めた思いをまとめる。(3)</p> <p style="text-align: right;">(本時 3/3)</p>	◎	○	<p>○「大造じいさんとガン」を読み、読みの視点をもとに作品の大体をつかむ。</p> <p>○情景の描写や行動の描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている [C エ]</p> <p>○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 [言語事項 イ(ケ)]</p> <p>○情景の描写や行動の描写をとらえ、優れた叙述をもとに、作者の思いを読み取っている。 [C エ]</p> <p>○椋鳩十を紹介するために、椋鳩十の作品を比べて読んでいる。 [C カ]</p>	<p>ノート</p> <p>ノート</p> <p>ノート 発表</p> <p>ノート</p>
三	<p>○自分で設定した項目をもとに、椋鳩十を紹介するパンフレットを作成する。(2)</p> <p>○作成したパンフレットを読み合い、自分の考えを広げたり、深めたりして、単元のまとめをする。(1)</p>	◎	○	<p>○椋鳩十を紹介するために、いろいろな椋鳩十の作品や伝記を並行して読んだり(多読)、拾い読み(摘読)をしたりするなど工夫して読んでいる。 [C イ]</p> <p>○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 [言語事項 イ(ケ)]</p> <p>○椋鳩十を紹介するために、椋鳩十の作品や椋鳩十に関する伝記や資料を選んで比べて読んでいる。 [C カ]</p>	<p>パンフレット</p> <p>ノート</p>

【本時の目標】


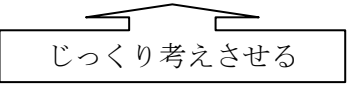
- 椋鳩十の作品についてそれぞれのグループで読み取ったことを交流し合い、「大造じいさんとガン」と比較したり、椋鳩十の人物像とつなげたりすることを通して、椋鳩十が作品に込めた思いを考えることができる。

<言語活動>

- ・課題図書として読んだ本から読み取ったことについてまとめたものを読み合う。
- ・作者が作品に込めた思いについて文章にまとめる。

【 準備物 】 画用紙，マジック，原稿用紙（200字）

【本時の学習指導過程】

学習活動	教師の発問・指示 予想される児童の反応	教師の指導・支援◎ 評価とその方法○
1. 本時のめあてを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 他の作品や作者の人物像もとに、椋鳩十が作品に込めた思いを考えよう。 </div>		
2. 各グループで、それぞれの作品で読み取ったことを確かめる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 作品を読んで読み取ったことを確かめましょう。 </div>	◎前時に、作品から読み取ったことを画用紙にまとめさせておく。 ◎8つの作品を課題図書として読ませておく。
3. グループごとに、それぞれの作品で読み取ったことを発表する。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・読み取ったことをまとめた画用紙を黒板に貼り、それを全員で読み合う。 ・どんな作品か(あらすじ)、「大造じいさんとガン」と比較して分かったこと(共通点, 相違点), 椋鳩十がこの作品から伝えたかったこと(主題)などを書かせる。 ・聞き手から質問や意見を出す。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 質問や意見はありませんか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○クマがモチーフ <ul style="list-style-type: none"> ・山の太郎グマ ・母グマ小グマ ○シカがモチーフ <ul style="list-style-type: none"> ・片耳の大シカ ○イヌがモチーフ <ul style="list-style-type: none"> ・黒ものがたり ・マヤの一生 ○イノシシがモチーフ <ul style="list-style-type: none"> ・イノシシの谷 ○サルがモチーフ <ul style="list-style-type: none"> ・わがまま子ザル ○カワウソがモチーフ <ul style="list-style-type: none"> ・金色の川 	◎聞き手が分かるように、ゆっくりと答えさせる。 ◎まとめたものについて疑問や意見がある場合は、積極的に聞いたり、言ったりさせる。
4. 椋鳩十が作品を通して伝えたかったことについて自分の考えをまとめる。 (150字～200字でまとめる) <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 椋鳩十は様々な作品を通してどんなことを読者に伝えようとしたのでしょうか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自然の美しさ たくましさ ・動物の親子の絆 ・動物たちの行動の驚き ・命の美しさ はかなさ 	◎椋鳩十の人物像や「大造じいさんとガン」の学習も活用して考えさせる。 ○椋鳩十を紹介するために、椋鳩十の作品を比べて読んだり、椋鳩十の人物像とつなげたりして、椋鳩十が作品に込めた思いをとらえている。 (原稿用紙)

<p>5. まとめたことを発表する。</p> <p>6. 振り返りをノートに書く。</p> <p>7. 次時の学習について知る。</p>	<p>次の時間は、これまでの学習を 生かして椋鳩十を紹介する パンフレットをつくりま す。</p>	<p>◎全員に発表させ、質問や意見 を出させる。</p> <p>◎ノートに本時の学習の振り返 りを書かせる。</p>
--	---	--

【板書計画】

命

作品に込めた思い

自然の美しさ

人間と動物の関係

椋鳩十

自然が好き(動物)

自然の経験が豊富

わがまま子ザル

金色の川

黒ものがたり

マヤの一生

イノシシの谷

山の太郎グマ

母グマ小グマ

片耳の大シカ

めあて

ようこそ 椋鳩十の世界へ

他の作品をもとに、椋鳩十の人物像や椋鳩十が作品に込めた思いを考えよう。